



2014年12月

春待月

2019年最後の月となりました。

旧暦では12月が冬の最後の月となり1月には春を迎えます。そのため、12月には寒い冬に気持ちが暖くなるような「春待月(はるまちづき)」という月名もあります。

月を見上げて、冬の終わりに春を想う12月号の新聞です。

春を迎える準備・・・コレンジャー同窓会を開催しました(11月24日)

朝まで雨が降っていましたが、仲間が集まる頃には雨も上がり太陽が顔を出しました☀

小学6年生から高校1年生までの10名が集い、みんなの自然やコレンジャー活動への想いが詰まった場所の整備を行いました。その場所は森の中にあり、昔は谷津田でした。そこを水生生物が利用できる水場として復活させるため、第3期コレンジャーから整備を始めました。命が生まれ、つながる場所「ビオトープ」です。

整備は、台風の影響で堆積した土砂を掘り出す大変な作業となりましたが、忙しい中集まってくれた10名のおかげで、無事に水場や砂防が完成しました♪

春に水場を利用する水生生物、現役のコレンジャー、コレンジャーだった頃の自分や仲間、成長した自分たち・・・に想いを馳せながら1日を共有し、笑顔で締めくくった同窓会となりました。また、ビオトープに集まろうね♪



みんな、自然のための活動に協力してくれて、ありがとう!!!



後輩が安全に歩けるように道を整備した



整備前(土砂が堆積した池)



倒木を利用した土留めや杭を使う



整備後(水場復活!!!)

今年度も市内小学校の小宮地区体験学習が終了しました

→体験後子どもから届いた手紙

歩いてたときいろいろおしえてくれてありがとうございます。わたしは、お森へ入ったとたんもうしぜんをかんじました。なんでお森はこんなにしぜんをかんじるといふかわからなかった。なんでもしぜんをかんじるのは動物や虫やわき水が、いばあ、たからだとおもいました。そのほかにも、お森をかかりしている人がいるから、こんなにしぜんかんじられたんだ。とわたしはうれしく思いました。しぜんはこんなにキレイなんだなと思いました。

平成24年度からスタートした小宮地区体験学習が今年度も無事終了しました。レンジャーや小宮のスタッフが小宮地区の森を案内し、子どもたちの学習のお手伝いをしています。案内するルートは、地域の方が整備を行っている場所もあり、小宮地区の自然や地域の方のおかげで、子どもたちは自然を愛する気持ちを育ててくれています。

一方、小宮地区周辺の学習ルートでは、台風19号の爪痕が色濃く残っていて、来年度以降の子どもたちの学習が心配です。



第9期コレンジャーの活動報告(12月8日)

12月の活動はビオトープ整備です。先月の同窓会で先輩たちが整備した場所を見学し(「お〜!」)、いよいよ自分たちの番(「よし、やるぞ〜!」)です。休憩も忘れるほど夢中で整備し、第9期の作業が完了しました!

みんな、自然のための活動に協力してくれて、ありがとう!!!



道具を持って山に登る



土砂をかき出して水場を再生!



石や土砂で埋まった水路を復活!



集合写真